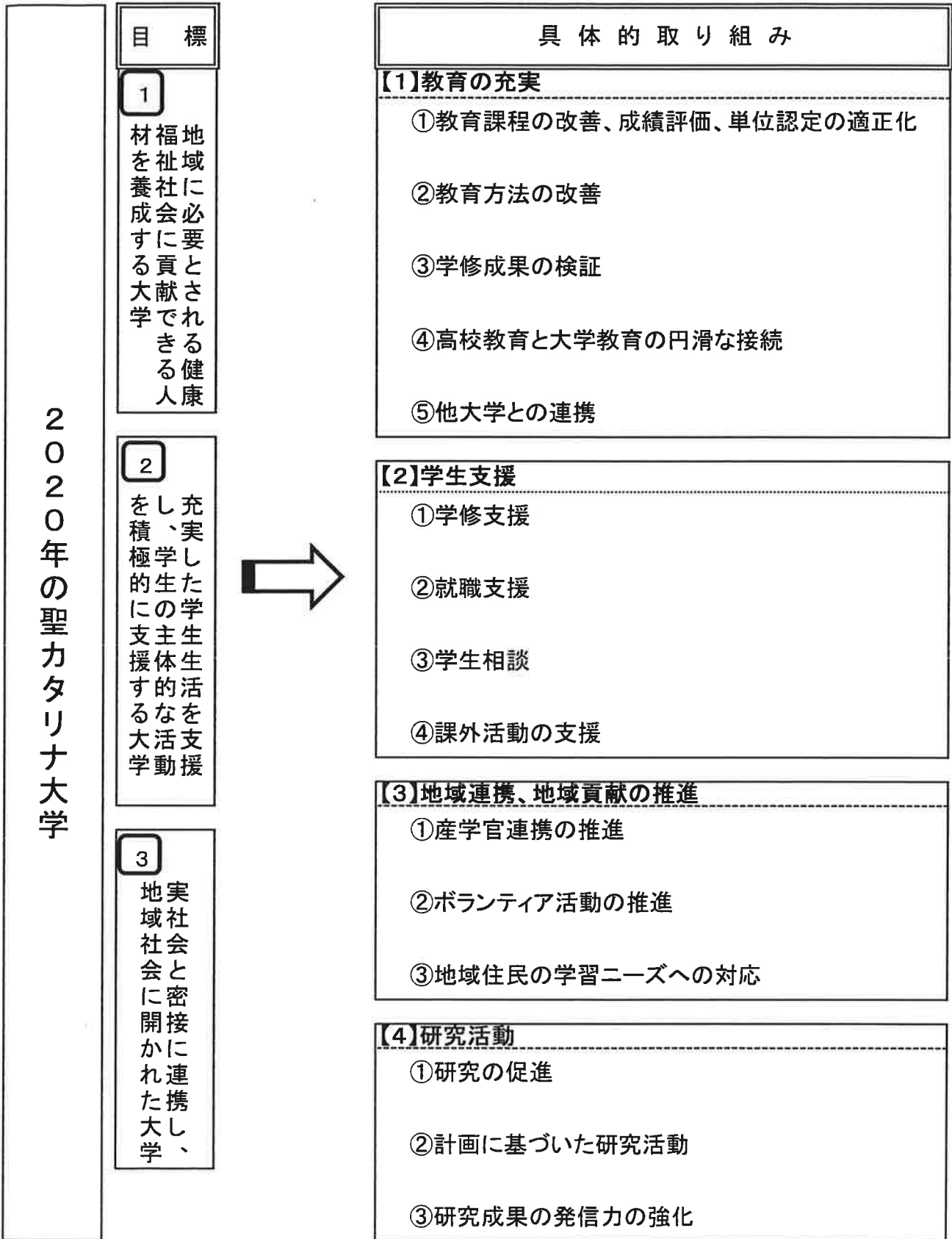


【大学の将来像】
建学の精神に倣い、地域に愛され、地域とともに発展する大学



地域に必要とされる健康
 福祉社会に必要とされる健康
 人材を養成する大学でできる人

充実した学生生活を支援
 し、積極的に主体的な活動を
 積学的に主体的な活動を支援
 をし、積極的に主体的な活動を

地域社会と密接に連携し、
 地域社会と密接に連携し、
 地域社会と密接に連携し、

- ①教育課程の改善、成績評価、単位認定の適正化
- ②教育方法の改善
- ③学修成果の検証
- ④高校教育と大学教育の円滑な接続
- ⑤他大学との連携

- ①学修支援
- ②就職支援
- ③学生相談
- ④課外活動の支援

- ①産学官連携の推進
- ②ボランティア活動の推進
- ③地域住民の学習ニーズへの対応

- ①研究の促進
- ②計画に基づいた研究活動
- ③研究成果の発信力の強化

【目 標】

1. 地域に必要とされる健康福祉社会に貢献できる人材を養成する大学

急速に進展する少子高齢社会に伴い、地域社会における健康福祉のニーズは年々高まっている。本学は新設（予定）の看護学科を含めた全学科の連携を促進し、地域においてこれからますます必要とされる健康福祉社会に貢献できる人材を養成する。

2. 充実した学生生活を支援し、学生の主体的な活動を積極的に支援する大学

豊かな人間性を育むために、学習や就職活動、課外活動をはじめ、学生生活全般においてこれまで以上に学生の主体的な取り組みを積極的に支援し、学生が学習主体・実践主体として成長するように取り組む。

3. 実社会と密接に連携し、地域社会に開かれた大学

産業界や行政、地域社会等と連携を図りながら、学生にとって多様な学びの機会を提供するとともに、社会連携活動を通じて本学が持つ専門性を持続可能な社会形成に寄与する。

【具体的取り組み】

1. 教育の充実

①教育課程の改善、成績評価、単位認定の適正化

教育課程編成を教職協働により策定し、体系的・順次性を重視した教育課程の改善を行う。特に学科横断的な学習機会の確保について検討を行う。また成績評価においては GPA 制度の早期導入に取り組むとともに単位認定についてもその適正化（水準）を図る。【担当部署：教学マネジメント会議、教務委員会】

②教育方法の改善

FD 研修等への積極的な参加、公開授業の充実を図り、教育内容、方法等の改善に努める。また学生の主体的な学びを推進するためラーニングコモンズの活用促進、アクティブラーニング、サービ斯拉ーニングなど多様な学習方法の積極的導入を図る。【担当部署：FD 委員会教務委員会、教学マネジメント会議】

③学修成果の検証

入学後の成績調査や授業出席状況調査、授業評価アンケート、資格取得状況、学生満足度調査、学生ヒアリング、就職先アンケートなどの各種データを収集・分析することにより、学生個人の学習成果を検証する。【担当部署：IR 委員会】

④高校教育と大学教育の円滑な接続

入学前教育の充実と大学入学後のリメディアル教育の充実を図る。

【担当部署：教務委員会、入試・募集委員会、高大連携計画委員会】

⑤他大学との連携

近隣の大学との教育連携を推進していくことは、本学の教育を強化・充実する上でも有効な方策であるため、愛媛コンソーシアムやCOC+事業等を通じ積極的に連携教育の推進を図る。

【担当部署：教務委員会、教学マネジメント会議】

2. 学生支援

①学修支援

資格試験の合格状況は、健康運動実践指導者の合格率など成果が認められるものもあるが、必ずしも良好とはいえない。特に社会福祉士国家試験については、授業内外における教員の熱心な学習支援があるものの結果に結びついていない。教職連携のもとに試験対策、各種講座の充実を図る。【担当部署：関係学科、教務委員会】

②就職支援

インターンシップやキャリア教育の改善、充実を図るとともに、就職ガイダンスや企業相談会などへの積極的な参加を促す。また学生の就職活動に必要な情報提供、相談体制の強化を図る。

【担当部署：就職委員会、教務委員会】

③相談支援

アドバイザーによる初期の対応、学生相談室との連携を図り早期の対応に努める。また、就職課、教務課、学生支援課の連携による総合的な支援を図る。

【担当部署：学生相談室、教務課、学生支援課、就職課】

④課外活動の支援

サークル活動の活性化は大学の発展においても、また学生の自己形成、豊かな人間性を育むうえでも必要である。学生参加を促すとともに活動に適した環境づくりに取り組む。【担当部署：学生生活委員会】

3. 地域連携、地域貢献

①産学官連携の推進

大学の知的資源の活用は、地域活性化を図る上で重要な取り組みである。これまでは社会福祉学科を中心とした産学官連携事業の取り組みを行ってきたが、他の学科においても連携事業に対して積極的に取り組む。【担当部署：各学科】

②ボランティア活動の推進

本学のボランティアセンターは大学やサークル、個人のもとに入ったボランティアの依頼の情報を広く学生に周知し、多くの学生に参加してもらうためのボランティア情報の統括センターとなっている。しかし近年における学生のボランティア参加状況は低迷しており、センターが十分に機能しているとは言い難い。センターの充実に向けた改革を行い、ボランティア活動の活性化を図る。【担当部署：学生生活委員会、ボランティアセンター運営委員会】

③地域住民の学習ニーズへの対応

地域住民の多様な学習ニーズや課題に対応するため、生涯学習拠点としての機能強化を図るとともに、地域住民や各機関、団体等の学内施設・設備の利用促進を図るなど、大学の開放化に努める。 【担当部署：教学マネジメント会議】

4. 研究活動

①研究の促進

科学研究費補助金などの外部競争的資金の申請を促進するとともに、学内競争資金制度の設置を検討し、個人研究、共同研究の促進を図る。

②計画に基づいた研究活動

研究計画書を作成し、計画に基づいた研究活動、研究費の使用を図る。

③研究成果の発信力の強化

身近な発信の場としての学内フォーラム（人間文化研究所、キリスト教研究所）の充実を図る（発表者の公募制、フォーラム開催日の検討など）。

【担当部署：上記①～②までFD委員会、③については各研究所】

1. 教学改革計画

(1) 教育課程の改善、成績評価、単位認定の適正化

- ①教育目的、学位授与方針の達成に向け、教育課程編成・実施方針を策定し、体系的・順次性を重視した教育課程の改善を行う。教育課程については各年度ごとに次年度に向けての検討を行うこととし、定期的に点検・評価を行うシステムを確立する。《計画実施年度》 28年度～
《担当部署》 教学マネジメント会議
- ②成績評価については GPA 制度を導入する。
《計画実施年度》28年度を準備期間とし、29年度からの導入を目指す。
《担当部署》 教務委員会、教学マネジメント会議
- ③単位認定の適正化については GPA 制度導入後、GPA 分布の学科間の共有化などによる成績評価・単位認定の適正化を行う。特に適正な評価が行われているか組織的な事後チェックのシステムを確立する。
《計画実施年度》29年度を準備期間とし、30年度からの運用を開始する。
《担当部署》 教学マネジメント会議、教務委員会

(2) 教育方法の改善

- ①SPOD 等の研修会への参加、公開授業参観を通して授業の改善、教育力向上を図る。
《計画実施年度》28年度以降毎年度。教員は2年間に1回の SPOD 研修への参加、年2回の公開授業の参加を義務付ける。
《担当部署》FD 委員会
- ②LC コーナー等の積極的活用により主体的な学びを促進する。
《計画実施年度》28年度以降毎年度（年間延べ利用人数の数値目標：500人）
《担当部署》附属図書館、教職員
- ③インターンシップ、キャリア教育の充実
インターンシップ、キャリア教育を横断的に推進する。
※28年度より組織的な取り組みを行う
《計画実施年度》平成 28年度～
《担当部署》就職委員会、教務委員会による連携

(3) 産学官連携事業、社会参加活動の推進

- ①学科の専門性を活かし、行政、関連事業所等との連携を推進し、学生の多様な学びの機会を確保する。
《計画実施年度》 28年度については社会福祉学科は従来の取り組みを継承。他学科においては28年度を検討、準備期間とし、29年度からの実施を目指す。
※産学官連携事業、社会参加活動の推進を図るための組織体型について28年度中に検討を行う。
《担当部署》教学マネジメント会議
- ②市民講座の開講
大学の知的資源の活用、地域住民の多様な学習ニーズや課題に対応するため、松山市駅キャンパ

スを活用した市民対象の講座を開講する。

《計画実施年度》28年度を準備期間、29年度より開講

《担当部署》教学マネジメント会議

(4) 大学院の設置（申請）

①看護学科完成年度までに大学院設置を目指す。

《計画実施年度》31年度までを準備期間、32年度に申請、33年度設置

《担当部署》将来計画委員会

2. 学生生徒募集計画

①入学者数については既存学科は28年度は171名（定員 190×0.9 ）以上、29年度以降は162名（定員 180×0.9 ）以上、看護学科については1学年88名（定員 80×1.1 ）の確保を目指す。（32年度まで）また、3年次編入学者数は各年度14名以上（定員 $20 \text{名} \times 0.7$ ）をめざす。

・学生募集に関しては入試課、入試募集委員会、業者との連携を図り、効果的な広報戦略を展開するとともに、高校訪問活動を充実させ、学部の教育内容、特色等について周知を図る。（入試募集委員会を中心に活動計画を作成）

・オープンキャンパス参加者が入学者数に大きく影響することから、各年度ごとに参加者の目標数を定め（目安として毎年度各学科ごとの延べ参加者数を定員数 $\times 2.0$ ）、目標達成に向けて全学的に取り組む。

《計画実施年度》28年度から毎年度

《担当部署》入試募集委員会

②内部進学率の維持、向上

・内部進学率については卒業生徒の7～8%推移を目標とする。

《計画実施年度》28年度から毎年度

《担当部署》入試募集委員会、高大連携計画委員会

③スポーツ特待制度改正

内部進学率の上昇、大学の特色づくり、学生生活の活性化を目的としたスポーツ特待制度（現行：男子サッカー、男女剣道）のあり方について検討、改正を行う。

《計画実施年度》28年度、29年度を検討期間とし、30年度から新制度

《担当部署》入試募集委員会、奨学制度委員会

3. 人事計画

①教員組織の適切性について定期的に検証する体制を構築する。

《計画実施年度》28年度より実施

《担当部署》人事委員会

②人事考課制度について検討し導入を目指す

《計画実施年度》28年度検討、29年度より導入

《担当部署》人事委員会

4. 施設設備整備計画

①アクティブラーニング教室の整備

《計画実施年度》28年度

《担当部署》財務委員会、教学マネジメント

5. 経費抑制計画

①不採算事業の検討（スクールバスの運行、いずみ寮の存続について検討）

※スクールバスについては平成28年度内に検討を行い、次年度からの対応を決定する。いずみ寮については29年度までに留学生等の動向を確認したうえで業者委託等の方向性について検討する。

《計画実施年度》29年度

《担当部署》財務委員会、入試募集委員会、学生生活委員会

②学内ペーパーレス化を図る

図書館、情報処理教室での学生印刷に関する28年度中に検討し、次年度以降の実施を目指す。また各種会議等の資料、紀要等についても電子化を進める。

《計画実施年度》29年度

《担当部署》財務委員会、教学マネジメント会議

6. 外部資金獲得計画



- ・私立大学等経営強化集中事業（タイプB）の獲得。（28年度）
- ・私立大学等改革総合支援事業（28年度タイプ1、29年度タイプ2）
- ・GPについては各学科ごとに提案。（28年度準備期間、29年度より申請）
- ・科学研究費をはじめ、共同研究費、受託研究費、教育研究奨励給付金の獲得を推奨する。（28年度～）












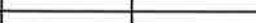







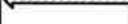

《計画実施年度》28年度

《担当部署》FD委員会、教学マネジメント会議、将来計画委員会

以上

【聖カタリナ大学 第2期中・長期経営計画管理】

 準備、検討
  実施

		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
教育改革計画	(1)	①教育課程の点検、評価システム					
		②GPA制度の導入					
		③単位認定等の適正化					
	(2)	①SPOD等の研修参加					
		②ラーニングコモンズ活用					
		③インターンシップ、キャリア教育					
	(3)	①産学官連携、社会参加					
		②市民講座の開講					
	(4)	①大学院設置(申請)					
	学生募集	①入学者、オープンキャンパス参加者					
		②内部進学率					
		③スポーツ特待制度改正					
人事	①教員組織の適切性						
	②人事考課制度の導入						
施設	①アクティブラーニング教室						
経費抑制	①不採算事業の検討(廃止)						
	②学内ペーパーレス化						
	③奨学制度見直し						
外部資金	①私立大学等支援関係						
	②GP、科研費等						